

実験テーマ	制御工学実験 I <u>ソフトウェア・リテラシ Script 言語 Python 入門</u>
所属・氏名 (共同実験者名は括弧内)	熊本高等専門学校 制御情報システム工学科 <u>4 年 21 番 氏名 下石 龍生</u>
実験場所	<u>5 号棟 3 階 PC 室</u>
実施日(第 1 週, 第 2 週)	<u>令和 3 年 4 月 27 日(水曜日), 令和 3 年 4 月 20 日(水曜日)</u>
レポート締切日	<u>令和 3 年 5 月 10 日(月曜日)</u>
レポート提出日	<u>令和 3 年 5 月 10 日(月曜日)</u>

評価項目 (A: 達成できている, B: 概ね達成できている, C: ほとんど達成できていない, D: 達成できていない)		自己評価 (A~D)	担当評価 (A~D)
実施評価	実験開始までに実験テキストや実験ノートを準備できており, 事前課題がある場合は, それに取り組んでいた.	A	
	担当者による指示をよく聞き, 不注意による無用な誤りなく安全に実験を行うことができた.	B	
	回路やプログラムを自分で作成し, グループワークの場合は自らの役割を全うするなど, 課題に対して積極的に取り組むことができた.	B	
	与えられた課題を時間内に達成し, 結果を正確に記録または出力できた.	A	
	使用器具の後片付けや実験場所の清掃をきちんと行った.	A	
レポート評価	章立ては適切であり, それぞれの章における記載内容は <u>自作のものである</u> . 引用がある場合は, その旨を明記している.	A	
	図・表の書き方は裏面の要領に準じており, <u>自作のものである</u> . (担当者が許可しない限り, 指導書の図すら引用してはいけない)	A	
	使用器具や実験環境について, 実験結果を再現するのに十分な情報を記載している.	A	
	課題に関する計測結果や出力結果を整理して記載し, 結果に対する独自の考察を述べている.	B	
	研究課題に取り組み, 適切な参考文献を基に答えを導き出している.	A	

※提出期限に遅れた場合, 遅れた週の数に応じて減点する.

実施点 (50)	レポート点 (50)	合計点 (100)